

# 働きがいのある会社を目指し 制度づくりに取り組む

所在地/長岡市北陽1丁目53番53  
代表者/今井 進太郎  
職種/マーケティング・建設資材販売  
従業員数/31名(女性11名、男性20名)  
HPアドレス/http://www.glocal-marketing.jp

## 経営理念

グローバルマーケティング株式会社は  
全社員の物心両面の幸福を追求すると同時に  
『地域創造カンパニー』としてあり続けます



地域創造カンパニー

グローバルマーケティング株式会社



代表取締役 今井 進太郎さん

経営企画室 清水 正輝さん



2014年4月、経営企画室の設置に伴い、採用されて入社した清水さん。経営企画室は、今井社長が掲げる「働きがい」のある職場にしていくため、制度面を積極的に充実させていこうと設置した部署です。この経営企画室と部長クラスで、働き方の問題を論議しながら進めています。清水さんは会社の業務、働きやすさなどについて、社員の意識共有が最も大事だと考えています。同社は社内SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を使って、自分の考えや意見を書き込める環境にあります。まだ若いスタッフが多い会社であり、出た意見を取りまとめて牽引していく人がいないため、「経営企画室がその役割を担ってほしい」と話します。まだ始動したばかりの経営企画室ですが、「社員みんなの声を拾い上げて、次に活かしていくスピードをもっともっと上げていきたい」と、意気込みを話してくれました。これからの取組に期待がかかります。

## 社員の成長を促す仕組みづくりを次々と

当社が一番高めようと思っているのが「働きがい」。今、社員がやりがいを持って仕事に打ち込めるような、または社員の成長を促すような仕組みづくりに取り組んでいるところです。例えば、人事評価制度の中で、自分で半期ごとに目標を立て、半年間でそれをクリアしていく目標管理制度を取り入れています。また、一人年間数万円の図書費支給も、社員の成長を促すための制度。個々の裁量で、学びたい分野または業務で求められている分野のセミナーに参加したり書籍を購入したりしています。その勉強の成果を毎週、会議前のミニ勉強会でプレゼンする時間を設けています。

## まだ低い男性の育児休業取得を推進

これからの時代、ワーク・ライフ・バランスを実現していくためには、男性の働き方を変えていくのは大事なことです。そのきっかけとして、高い女性の育児休業取得率に対し、まだ低い男性の育児休業の取得を推進していこうと、経営企画室が中心となって制度づくりに取り組み始めました。当社では「トキっ子くらぶ」という子育て支援の取組を行っており、まず自分たちがお手本を示さなくてはということもあります。実際に一歩踏み出してみると課題も見えてきました。業務をメイン担当とサブ担当の2人体制で行うようになったのも、男性の育児休業がきっかけで始めたものです。

## ITを活用し、全社員の意識統一を図る

ITを活用したコミュニケーションの円滑化も、力を入れている取組の一つ。当社は新潟と長岡に事業所があり、互いに連携しながら業務を進めていくことが多いため、「コワーク」という仕組みを取り入れ、社内の情報共有を図っています。誰か一人が日報や業務のことを書いてネットに上げると、それに対して他の社員がコメント。情報交換、意見交換が容易にでき、業務の効率化、生産性の向上にもつながります。また、スカイプで両事務所を結び、全員が顔を見合わせながら朝礼を行っています。全社員の意識統一というのは、ワーク・ライフ・バランスにとって、とても大事なことだと考えています。



第2子が生まれたばかりの松岡さんは、同社の男性社員で初めて育児休業制度を利用しました。これまで、休日以外はなかなか子どもと接する機会がなかったという松岡さん。育児休業で長い時間一緒にいることで、「ようやく子どもから父親として認められた」と笑います。会社にはまだ未婚や子どものいない若い男性社員も多く、松岡さんが育児休業取得の前例をつくったことで、他の人たちが取得しやすくなったのは間違いありません。



各社員に図書研修費を支給している同社には、「図書室」があります。社員は無料で自由に使うことができ、業務に活かすため、自分の成長のために、書籍を図書室から借りて読んでいます。マーケティングやWEBなど、業務に関係した書籍が多いですが、今後も分野を広げながら書籍を増やしていく予定とのこと。社員の学が意欲に応える取組の一つです。